

第8回 生物・化学汚染による健康障害の建築的対応 特別研究委員会  
議事録

記録：長谷川

- A. 日 時：2007年9月18日 17:30～19:30
- B. 場 所：日本建築学会会議室
- C. 出席者：＜委員長＞吉野 博 ＜幹 事＞加藤信介  
＜委 員＞池田耕一，大澤元毅，桑沢保夫，篠原直秀，長谷川兼一，坊垣和明，  
森 千里，柳沢幸雄，柳 宇 (順不同，敬称略)
- D. 資 料：No.8-0 議事次第  
No.8-1 第7回 議事録  
No.8-2 検討課題のキーワード  
No.8-3 委員会の活動計画  
No.8-4 IAQVEC スペシャルセッション  
No.8-5 特別研究委員会報告書 目次案  
No.8-6 カビの汚染について，ダニの汚染について(柳委員話題提供資料)  
No.8-9 構造用合板表面における真菌の成長速度に関する基礎実験，  
温湿度，樹種と真菌の成長速度の関係に関する基礎実験  
(桑沢委員話題提供資料)
- E. 議 事
1. 前回議事録の確認が行われた。(資料 No.8-1)
  2. 吉野 WG の進捗状況が報告された。アレルギーと居住環境との関連性に関する疫学調査を実施しており，全国の小学 4，5 年生の児童に対して，ハガキアンケートの配布を開始。次回委員会にて進捗状況が報告できる。
  3. ホームページは随時更新されていることが報告された。
  4. 委員会の活動計画(資料 No.8-3)について確認された。  
(ア) 話題提供
    - ✓ 次回の話題提供は赤林委員，阿部先生にお願いする。(吉野委員長担当)また，本委員会での検討課題の一つである建築的対応について議論するために，ハウスメーカーの方にも話題提供いただくようお願いする。(坊垣委員担当)(イ) シンポジウム・ワークショップの計画
    - ✓ IAQVEC でのスペシャルセッションの企画案が，資料 No.8-4 により確認された。企画内容は Chair の J.Sundell，J.H.Su により確認されている。本 SP は 10 月 29 日 15:00 から 16:30 に行う。
    - ✓ 最終成果のシンポジウムは，3 月 10 日に建築会館ホールにて実施する。企画内容は次回検討する。
  5. 資料 No.8-5 に基づき，本委員会報告書目次について検討された。  
(ア) 「2. 室内環境要因による健康障害」に健康障害を対象としてないテーマも含まれているため，別に章を設けて分ける。  
(イ) 「4. 人体影響・建築的対応の検討」は同じ章とせずに別章とする。建築的対応について内容を充実させる必要がある。  
(ウ) 報告書目次を踏まえてシンポジウムを企画する。
  6. 柳委員より，カビ・ダニの汚染について話題提供が行われた。
  7. 桑沢委員より，木材表面における真菌の成長について話題提供が行われた。
  8. 次回：欠席の先生方の都合を伺い，11 月 29 日(木)，26 日(月)，12 月 4 日(火)のいずれかに設定することとなった。  
→ 11 月 29 日(木) 17:00～19:00 於：建築会館会議室  
話題提供は，赤林委員，阿部先生，ハウスメーカーの方に依頼し，可能な方をお願いする。